

内陸線を応援しよう

北東北めぐり
ネットワーク

打当温泉で定例会

秋田、青森、岩手3県の行政担当者などが集う「北東北めぐりネットワーク」が24日、北秋田市阿仁の打当温泉「マタギの湯」を会場に開かれた。約50人が参加、秋田内陸線の存続、活用に取り組んでいる人たちの講話を聞いた。

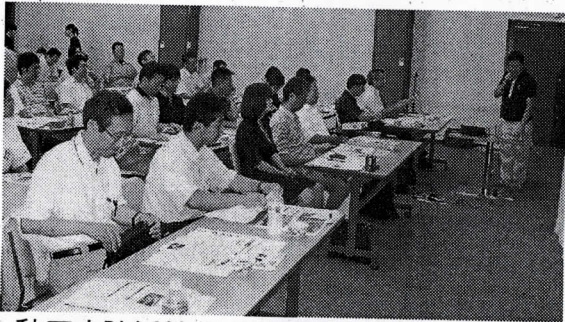
ネットワークは13年

からスタート。年数回各地を回り、地元の人たちの講話を聞きながら、意見を交換している。17回目となる。

今回は、

存続の危機に立たされている内陸線を応援しようというのが開催の趣旨。3県の県庁職員、民間団体関係者、北秋田市職員などが参加した。

講師は、▽秋田内陸活性化本部の畠山智憲さん(テーマ「おもしろい、を形にする」内陸線で元気になるっ。地域・行政ぐるみの活性化運動)▽北秋田市議の佐藤光子さん(「意識改革」33歳女性議員の決意)▽秋田内陸縦貫鉄道社長の若杉清一さん(「秋田内



秋田内陸活性化本部の畠山さんの講話を聞く参加者たち(打当温泉)

陸線再生に向けて)の3人。

4月、北秋田地域振興局から秋田内陸活性化本部に異動した畠山さんは、活性化本部の取り組みを紹介。「存続運動から、今後は内陸線を活用して地域が元気になるような取り組みが必要」と話した。

陸線活性化本部の畠山智憲さん(テーマ「おもしろい、を形にする」内陸線で元気になるっ。地域・行政ぐるみの活性化運動)▽北秋田市議の佐藤光子さん(「意識改革」33歳女性議員の決意)▽秋田内陸縦貫鉄道社長の若杉清一さん(「秋田内